

平成25年度 お茶の水女子大学経営協議会（第1回）議事録

日 時：平成25年6月18日（火）15：00～17：00

場 所：お茶の水女子大学 大学本館2階 第一会議室（213室）

出席者：（学外委員）足立委員、槍田委員、小倉委員、小野委員、國井委員、野村委員
（学内委員）羽入学長、市古理事、耳塚理事、河村理事、江澤理事、
鷹野副学長、山崎副学長（戦略担当）
（陪 席）斎藤監事、吉武監事、
米田文教育学部長、菅本理学部長、大塚生活学部長、
石口大学院人間文化創成科学研究科長、高崎附属学校部長、
香西財務室長、新井総合評価室長

1. 開会

- 審議に先立ち、新たに就任された野村経営協議会委員、山崎副学長（戦略担当）の紹介があった。

2. 前回議事録（案）の確認

- 修正等がある場合は、本日から一週間を目処に、総務チームまで連絡することとした。

3. 審議事項

（1）平成24事業年度に係る業務の実績に関する報告書について

- 総務機構長及び監査・評価チームリーダーより、平成24事業年度に係る業務の実績に関する報告書について、【資料3】に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

（2）平成24年度決算について

- 総務機構長及び財務・契約チームリーダーより、平成24年度決算について、【資料4】に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

（3）平成26年度概算要求について

- 総務機構長より、平成26年度概算要求について、【資料5】に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

（4）国立大学法人お茶の水女子大学役員退職手当規程の一部改正について

- 総務機構長より、国立大学法人お茶の水女子大学役員退職手当規程の一部改正について、【資料6】に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

（5）国立大学法人お茶の水女子大学授業料その他の費用に関する規則の一部改正について

- 教育機構長より、「新しいサバティカル制度（A制度）による附属学校教員を対象とするお茶の水女子大学大学院博士前期課程における研修制度」設置に伴うお茶の水女子大学授業料その他の費用に関する規則の一部改正について、【資料7】に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

（6）国立大学法人お茶の水女子大学学長選考会議委員の選出について

- 総務機構長より、国立大学法人お茶の水女子大学学長選考会議委員の選出について、学長選考会議規則に基づき提案があり、審議の結果、下記のとおり選出された。

足立直樹	経営協議会委員
槍田松瑩	経営協議会委員
小倉和夫	経営協議会委員
小野元之	経営協議会委員
國井秀子	経営協議会委員

4. 報告事項

(1) 全学評価及び部局別評価自己評価書に対する外部評価結果について

- 総務機構長及び監査・評価チームリーダーより、全学評価及び部局別評価自己評価書に対する外部評価結果について、【資料8】に基づき報告があった。

(2) キャンパスマスタープラン2013について

- 総務機構長及び施設チームリーダーより、キャンパスマスタープラン2013について、【資料9】に基づき報告があった。

(3) 外部資金受入状況について

- 国際・研究機構長より、外部資金受入状況について、【資料10】及び参考資料に基づき報告があった。

(4) 平成24年度卒業生・修了者の進路状況について

- 教育機構長より、平成24年度卒業生・修了者の進路状況等について、【資料11】に基づき報告があった。

(5) 国際交流データについて

- 国際・研究機構長より、本学の様々な国際交流データを【資料12】のとおり「国際交流データブック」として取りまとめたことの報告があった。

5. 意見交換

(1) 教育再生実行会議及び産業競争力会議の議論について

学長より、教育再生実行会議及び産業競争力会議の議論を踏まえ、国立の女子大学としての役割をどのように教育体制の中に反映させ、実行させていくか、ご助言願いたい旨発言があり、意見交換に先立ち本学のAO入試について説明があった。

■学外委員からの主な意見は以下のとおり。

- ・AO入試で多様な人材が入学することは極めて重要だと思うが、一般的にはAO入試で入学した学生の実力不足等が指摘されており、評判が悪い。
- ・大学では「学ぶ」ことよりも「学ぶ力」を身につけることが重要。
- ・企業において中途採用者が認知されたように、AO入学者が増えれば、当たり前になる。
- ・入試センター試験の廃止等が提言されており入学試験を改善しなければならないのは事実だが、入学試験制度を変えるのは簡単にはいかない。
- ・就職活動について徹底的に研究し、調査し、大学の入学試験ともっと連動させるべきである。
- ・コミュニケーション能力、グローバルな視野を確認できるAO入試は一種の就職試験のようで評価できる。もっと宣伝してもよいのではないか。
- ・男性学を学ばせたらいかがか。お茶の水女子大学でこそ、「男性学」をぜひとも研究して頂きたい。
- ・これから求められる人材について、均等に育てるのではなく、重点育成分野 理系女子の育成を集中的に行なうという戦略もあり得るのではないか。

■本学からの主な回答・発言は以下のとおり。

- ・「学ぶ力」、「汎用型の力」に比重を置いた授業、PBL (Project Based Learning) 等の導入を始めている。
- ・キャリア教育基幹科目として、「企業の方に課題を出して頂く」形態の授業も開始している。これらの授業を、今後も増加させていく方針を掲げている。

- ・リーダーシップ養成教育研究センターを中心に、社会人と大学院生の両者が参加するカリキュラム開発を行なっている。
- ・博士課程教育リーディングプログラムでは「理系の女性を育てる」プログラムを提案している。採択されれば更に目に見えた形で展開できると考えている。

6. その他

(1) 「リーダーシップ論 第7回」について

- 学術・情報機構長より、平成25年6月19日に開催する「リーダーシップ論 第7回」について、【資料13】に基づきご案内があった。
- 学長より、平成25年度の開催予定について、【資料14】に基づき説明があり、次回開催は、平成25年10月22日（火）15時からであることを確認した。
また、平成25年度主要行事予定について、【資料15】に基づきご案内があった。

以 上